

# ありがとうの灯中

学校便り第23号  
令和8年2月19日  
福井市灯明寺中学校



今、本校の生徒玄関で、とても美しい『星空』を見ることができます。実は、生活委員会が『明るい挨拶で灯中星を輝かせよう！プロジェクト』をスタートさせたのです。掲示板には、「みんなでめざそう！『ありがとう』『おはよう』が素直に、元気に言える灯明寺中学校の伝統を、3学年、みんなでつくる！」との決意が記されています。この取り組みは、日々の生活で目標を実行できた生徒に『星のシール』が与えられ、自分の団色の「夜空」にそのシール（星）を貼っていくものです。3年生の卒業式までに、みんなで「満天の星空」を完成させようという、中学生らしい実に見事なアイデアだと感心しました。特に「灯中生」を「輝く（灯中）星」と捉えた点や、学年の枠を超え、学校祭の熱気を彷彿とさせる「6色の夜空（縦割り団）」を展開した点には、深い意義を感じます。こうした柔軟で創造力豊かな発想は、決して大人だけでは生み出せないものです。中学生の皆さんの感性の素晴らしさに、心から拍手を送りたいと思います。「灯中星(生)は、実に、素敵です！」

さらに、私がもうひとつ感激したのが、この『星空』そのものです。実は、私の幼い頃の夢は宇宙飛行士でした。小学生の夏休み、一晩中流れ星を数えて過ごしたほど、宇宙の魅力にどっぷりとはまっていました。大学卒業後の約半年間のアメリカ留学中には、フロリダのNASAケネディ宇宙センターを訪れ、スペースシャトルの発射台の真下から空を見上げ（実際に行けました）、感極まって涙したこともあるほどの「宇宙オタク」でした。宇宙はまさに神秘的です。今見えている星の光は、何億年も前に放たれたものであり、その星自体はもう存在していない。。そんな宇宙のスケールの大きさや不思議さに魅了されていた記憶が、生徒玄関にある



これら6つの「星空」を見て、鮮やかに蘇りました！感謝です。「ありがとう」。

今毎日の中で、辛い思いや苦しい思いをしている人がいるかもしれません。夜の暗闇に押しつぶされそうになりながら、涙している人もいるでしょう。しかし、明けぬ夜はありません。皆さんが放つ光は、たとえ暗闇の中でも、一つひとつ、確実に、夜空の星のようにキラキラと輝いています。自分自身の光に自信をもって、前を向いて朝を迎えましょう！ 福井市灯明寺中学校長 佐藤 勉 (Big Ben)

## <新入生入学説明会>



2月2日(月)の14時から、来年度入学予定の児童144名とその保護者の皆様をお招きし、「新入生入学説明会」を開催しました。児童は出身小学校ごとに各教室へ分かれ、1年生の代表生徒から中学校での生活や心構えについての説明を受けました。どの児童も緊張した面持ちで、先輩たちのアドバイスを真剣に聞く姿がとても印象的でした。皆さんが笑顔で入学されることを、心よりお待ちしております。

## <早稲田大学交響楽団演奏会>

2月3日(火)の放課後、早稲田大学交響楽団から6名の弦楽器奏者の皆様をお招きし、吹奏楽クラブの生徒を対象としたミニ・コンサートを開催しました。本来であれば全校生徒で素敵な音色を堪能したいところでしたが、インフルエンザ流行や日程の都合により、少人数での実施となりました。モーツァルトの古典的名曲から葉加瀬太郎さんの「情熱大陸」まで幅広い楽曲が披露されたほか、岡田明日晴くんの指揮者体験も行われ、短時間ながらも音楽の魅力に触れる充実した時間となりました。♪

